

第 19 回観光統計の整備に関する検討会 結果概要

日時：令和 4 年 2 月 21 日（月）13:00～14:00

場所：オンライン開催

要旨：

○「宿泊旅行統計調査」の見直しについて

- ・宿泊施設が存在しないような小さな地域に係る数値は精度を達成できない可能性が高いため、公表対象外にすべき。
- ・全体的に標準誤差率を下げる手段として、どのような施設からの回収が標準誤差率を下げられるか。大型施設の有無など地域の状況によって異なるが、公表してもらいたければ地域の努力によって大型施設に回答してもらえよう力学が働けばいいと思う。
- ・使用する立場からすれば、市区町村の結果合計が細かく表章されているデータにニーズがある。
- ・市区町村ごとの公表は、毎月でなくてもよいのではないか。四半期にするだけでもサンプルは 3 倍になる。今は都道府県ごとにサンプリングしているなら、今後バイアスがかからないようサンプリングの戦略を考える必要がある。
- ・データに対する問い合わせやニーズは、どこからどういうニーズなのかを整理する必要がある。どんなに精緻化しても使用してもらえないのであれば意味が無い。

以 上